

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年3月31日

【評価実施概要】

事業所番号	2871101180		
法人名	医療法人社団それいゆ会		
事業所名	グループホーム「かわも」		
所在地	宝塚市川面3丁目24番9号 (電話) 0797-85-5585		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通2-1-18		
訪問調査日	平成20年2月8日	評価確定日	平成20年3月31日

【情報提供票より】(平成20年1月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年7月		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算	11.6

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4階建ての	2	3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	89,000・90,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費・共益費各15,000 円	
敷金	(有)(500,000 円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	(有)(700,000 円)	有りの場合償却の有無	(有) / 無 (48ヶ月)	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	550 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成20年1月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	名		
年齢	平均 85.27 歳	最低	70 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	こだま病院 児玉診療所 藤沢歯科医院
---------	--------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR宝塚、阪急宝塚駅から徒歩2~3分の所にあるホームは「医療法人それいゆ会」が事業主で、こだま診療所が隣接された恵まれた環境にある。もともと地域からの要望で立ち上げ、地域の人達に入居して欲しい思いが強い。
自立支援の中でその人にあった支援は何か、その人の生活歴の背景は、その人の人生経験は等を確認しながらその人らしさを生かし寄り添える援助に努めている。もちろん家族の思いや希望も十分積み上げ医療面での連携が密で安心して暮らせるグループホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 評価は今後のホームの質の改善、向上につながるもので、見出された課題について管理者のみが充分理解しても、現場の職員がそれを活かして行く事が出来る様に取り組んで欲しい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 職員全員に評価を実施し、取り組んで行きたい内容は検討して管理者がまとめた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 会議はいつも積極的な参加があり、ホーム側の取り組み内容や問題点を説明して、参加者からの意見を提供してもらい、評価についても報告し、貴重な時間を確保している。
	重点項目 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 家族には利用者の様子を月1回の「かわも通信」にて写真入りでコメントを書き込み郵送している。行事毎に家族会を開催。個別の意見を聞いた、ホームの現状を伝えている。家族から、行事の参加だけでなく準備にも関わりたいとの声が上がっている。
重点項目	開かれたグループホームをめざす中で、地域との関わりは大切で、自治会のお祭り参加はもちろん、ホームのお祭りにも沢山の人が来てくれる。町会の一員として暮らし続けている。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所は地域からの要望で立ち上げ、また地域の方々に入居していただきたい思いが強くあり、そのため地域との関係を大切にしたい理念を作成している。		事業所は自治会や民生委員の集会毎に認知症の理解を深めてもらうため理念を紹介しているが、より一層の啓発が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員の名札の裏に理念と緊急時のために、法人の協力医療機関の住所・電話・FAX番号が明示し、理念の共有が図られているが、まだ理念の意識付けには至っていない。		職員が日々の中で、またミーティングや申し送り時に、理念について意識付けすることが望ましい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りその他に積極的に参加し、共に暮らす住民として地域に溶け込んでいる。また、地域性もあり近隣の教会とも関係も保障している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の手引を回覧している。外部評価では研修不足であり、事業計画の中に取り入れた。評価結果は会議中に全職員に伝えているが、それを活かしていく為のねらいや活用方法が一部の職員が理解できていない。		第三者評価で見出された課題について、管理者・職員で十分検討し、積極的に取り組むことが望ましい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の様々な立場の人に参加いただき、7～9名で構成している。事業所の取り組み内容や改善課題を話し合い、多くの意見や要望を受け、改善に向けた具体的な取り組みにつなげている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市担当部局からの積極的な情報提供がある。また地域の高齢者の課題解決の為、支援について相談を受けている。市の事業者協会に登録しており、市の他の地域密着型サービスに関する意見交換を活発に行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、「かわも」通信を発行しご家族との連絡を密にしている。買物時には必ず家族に報告し、また家族の声を直接お伝えするよう努めている。市内の入居者が多いので、ご家族の訪問時には金銭出納帳を確認のうえサインをいただいている。また、その際にはケース記録も見ていただき、説明をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会は不定期であり、行事の開催時にご家族が集まった際に開催している。家族会ではご家族からの意見、苦情等が出やすい場となっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的に各々のユニットが、状況に応じて対応している。新しく職員が採用された場合には、先ず5日間入居者に寄り添い、また先輩職員の動きを15分間しっかり観察することにより、その人に応じたケア、心理を理解するようにしている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	先輩の職員は、ケアチームで新しく採用された職員の疑問やケアの方向性が分からない場合には、リーダーの責任で対応する指導者としての体制を整えている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の介護事業協会に所属しており、協会の施設部会からの案内（年2回）で、他の地域密着型サービス事業所の見学や研修会（事例検討会等）に参加している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居開始前には、ティータイム時に食事を取ってもらい、食べ方、他の入居者・職員との相性を把握にしている。体験入居として3日～1週間の入居をされる方もいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	行事のときは、年長者である入居者から生活の技や文化の大切さを教えてもらっている。例えばおもちゃつきの際の注意点を入居者から職員が学び事があり、日々共に支えあっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者と共に暮らす者同士として一人一人の思い、希望、意向の聞き取りに努めている。</p>		<p>意向の表質が把握が困難な方に対してもその方に応じた対応をしている。</p>
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントは全職員で意見を出し合っている。介護計画は、家族の訪問時に要望を聞いたり、入居者とは日々の生活の中で気付きや意見を引き出し、反映している。職員が研修してきたコミサークルチャート(人の生活を多角的にアセスメントする形式)を使用し、分かりやすい介護計画を立てている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々入居者を見ているので期間にとらわれず、変化に応じて本人、家族、職員と話し合い柔軟かつ臨機応変に対応が出来る。3カ月に1回は必ず見直し、安定している人も月に1回予防的に見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者、家族の状況に応じて、通院介助、送迎等、また近隣の高齢者をショートステイに受け入れたり、他のデイサービスを利用できるよう紹介したり、多様な支援をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望するかかりつけ医や協力医療機関での受診支援を行っており、複数の医療機関を関係構築している。定期的に訪問診療を依頼し、必要な時には家族に同席してもらうようにしている。受診結果は職員間で共有している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に関しては、入居者、家族に意向を確認している。終末期までホームで過ごす事を希望するか、主治医に診ていただける時期をいつまでにするか、そのような意向確認により関係者全員の意思の統一を図っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者と接する際に、若い職員の言葉使いについてミーティングで話し合っている。リーダーは常に入居者に対して誇りを傷つけない、プライバシーを損ねるものになっていないか配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>コミサークルチャートにおいても散歩をする、ビデオを観る、部屋で編み物をする、というような個別的なケアの内容が反映している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
	22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		料理の好きな方の入居も考慮し、月に1回でも入居者から献立の立案や買い物、調理、配膳等を行う日を設けられるような検討が期待される。
	23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
	24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		行事がマンネリ化しないよう入居者・家族・ボランティアなどから様々なアイデアを提供してもらい取り組みをしている。
	25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
	26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		エレベーターの暗証番号も今後使わなくてよいケアのあり方の検討が期待される。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成し、年に2回避難訓練を実施している。</p> <p>災害時の食料としてレトルトパックのお粥、炊き込みご飯、パン、缶詰等を法人で準備している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日、食事・水分摂取量を記録している。体重は月1回計り、食欲が減退している入居者に対しては血圧、体温、顔色、運動不足等、食欲減退の原因を究明しながら支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>手作りの作品がフロア一杯に飾り付けてあり、家族から届くお花で季節感を採り入れ、生活の匂い等は換気扇でとり除くよう配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の入口はきれいな表札があり、内部は家族と一緒に持ち寄った家具、仏壇等も置いている。</p>		

 は、重点項目。